

4. 資 料

東京消防庁

令和7年消防に関する世論調査票

※ 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていただきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

調査にご協力いただいた方には全員に、謝礼（ＱＵＯカード５００円分）を集計完了後の令和7年11月から12月頃を目途に送付します。

また、令和8年東京消防出初式観覧チケット（令和8年1月6日実施予定）が当たる特別抽選枠※の応募が可能です

※応募の詳細については、出初式特別抽選枠のご案内をご覧ください。

QRコードもしくは同封の案内により応募が可能です。



出初式特別抽選枠のご案内

～ 記入上の注意事項 ～

- 1 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。（質問は28問、所要時間は20分程度※です。）※ 個人差があります。
- 2 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の説明に沿って回答してください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご多忙中大変恐縮ですが、10月3日（金）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

◆ パソコンからの回答はこちらから

<https://ntnlights.post-survey.com/W4p2z7Pq/>

◆ スマートフォンからの回答は右記QRコードを読み取ってください。インターネット回答
なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。



ID		パスワード	
----	--	-------	--

インターネット回答につきましても、10月3日（金）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ先】 東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係（担当：菊地）

電話：03-3212-2111 内線：2326 FAX：03-3212-1027

Mail：tfdcontact@tfd.metro.tokyo.jp



ご協力いただきありがとうございます。
質問数は28問です。(所要時間 20分程度)
ご回答のほどよろしくお願いいたします！

I 地震に関すること

地震発生時の行動についてお聞きします。

Q1 あなたが家にいる時、揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。
次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に _____ ）

家庭での地震に対する備えについてお聞きします。

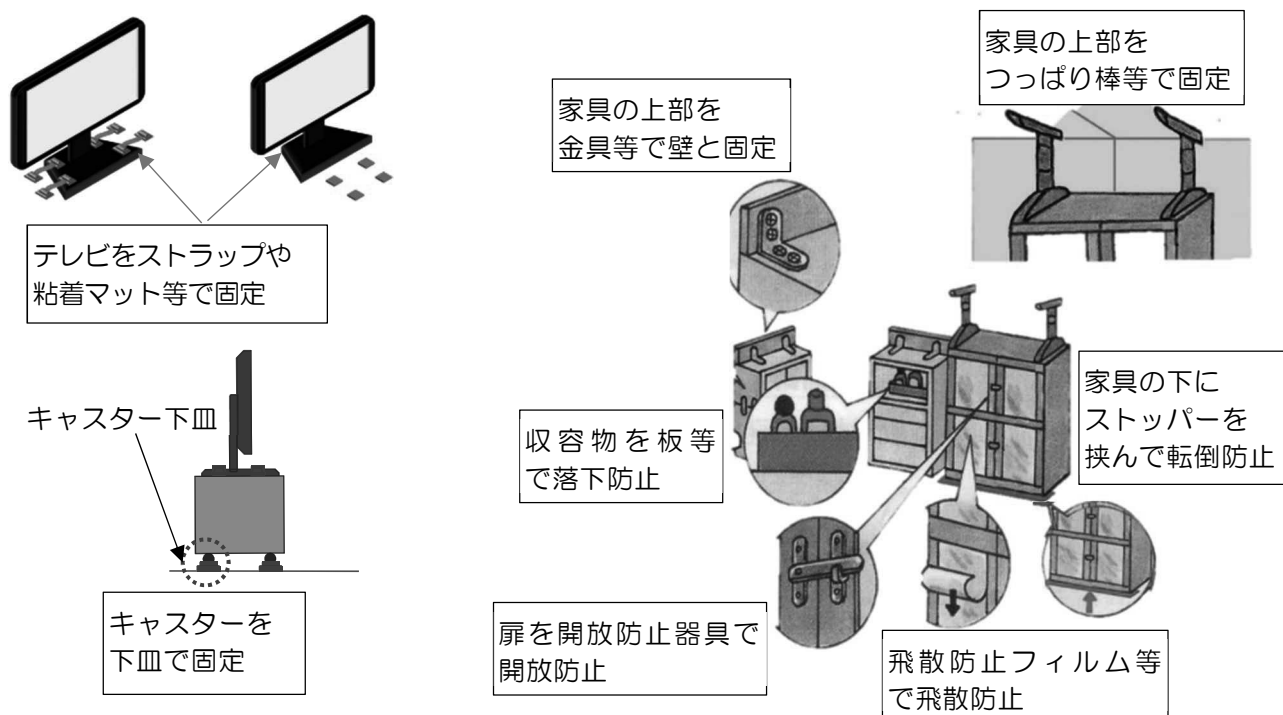
Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 すべての家具類に実施している（→Q4へ）
- 2 一部の家具類に実施している（→Q3へ）
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない（→Q4へ）
- 4 実施していない（→Q3へ）

参考

近年、日本で発生した大きな地震では、家具類が転倒、移動、落下したことにより、多くの方が負傷しています。

①「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例



②「倒れる可能性のある家具類がない」例



クローゼットへの集中収納

Q3 Q2で2又は4を選んだ方にお聞きます。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 地震で倒れるとは思わない、倒れたとしても危険だとは思わない
- 2 対策について考えたことがない
- 3 対策方法がわからない
- 4 家具レイアウトの変更や棚の下に重い物を収納する等の工夫をしている
- 5 お金がかかるから
- 6 ほとんど家にいない
- 7 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 8 壁や家具にキズを付けたくない
- 9 建物が免震又は制振構造である
- 10 面倒である
- 11 その他（具体的に

Ⅱ 119番通報に関すること

119番通報がつながりにくい場合の行動についてお聞きします。

Q4 通報の増大により、119番通報がつながりにくい場合があります。
あなたは119番通報がつながりにくい場合、何コールまで待つことができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 2コール（6秒）まで待てる
- 2 3コール（9秒）まで待てる
- 3 7コール（21秒）まで待てる
- 4 10コール（30秒）まで待てる
- 5 20コール（1分）まで待てる
- 6 40コール（2分）まで待てる
- 7 60コール（3分）まで待てる
- 8 つながるまで待てる

Q5 119番通報がつながりにくい場合、あなたはどのようにしますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 つながるまで電話を切らない
- 2 複数の電話から同時に通報する（別の電話からも通報する。周囲の人にも通報を依頼するなど）
- 3 消防署・消防出張所に通報する
- 4 つながるまで何度もかけなおす
- 5 他の機関（警察等）に通報する
- 6 何も思いつかない
- 7 その他（具体的に ）

Ⅲ 救急に関すること

今までに、救急車を呼んだ（１１９番通報した）ことがある方にお聞きします。
救急車を呼んだことがない方は選択肢１４をお選びください。

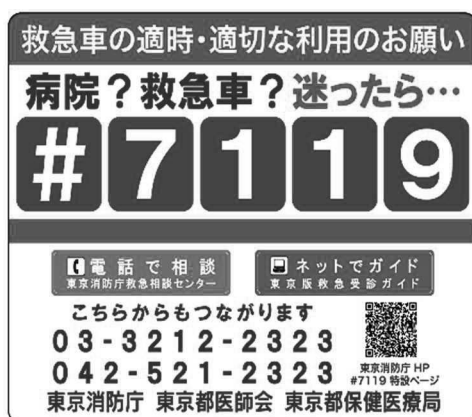
Ｑ６ あなたが救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- １ 生命の危険があったと思った
- ２ 自力で歩ける状態でなかった
- ３ 軽症や重症の判断がつかなかった
- ４ どの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）
- ５ 「東京版救急受診ガイド」を利用したときに救急車を呼ぶ判断となった
- ６ 「東京消防庁救急相談センター #7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された
- ７ 救急相談先である「東京版救急受診ガイド」を思い出せなかった
- ８ 救急相談先である東京消防庁救急相談センター #7119 を思い出せなかった
- ９ どこかに相談しようとしたが連絡先が分からなかった
- １０ 家族や知人、居合わせた人に薦められた
- １１ 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった
- １２ 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- １３ 交通手段がなかった
- １４ 救急車を呼んだことはない
- １５ その他（具体的に

回答番号１５は、救急車を呼んだ理由が番号１～１３に該当しない場合に選択してください。

#7119（東京消防庁救急相談センター）

東京版救急受診ガイド



ウェブ版



冊子版

「#7119」及び「東京版救急受診ガイド」について

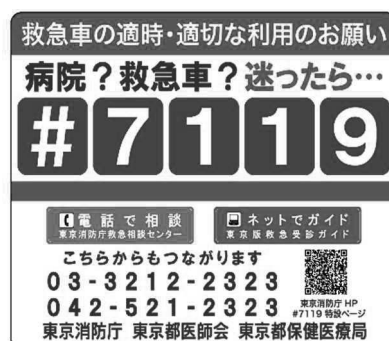
Q7 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話で相談できる
「#7119※」東京消防庁救急相談センターを知っていますか。

または、利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 利用したことがある
- 2 利用しようとしたが、電話が繋がらなかった
- 3 どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない
- 4 名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない
- 5 知らない

※ 「#7119」東京消防庁救急相談センターは、急な病気やけがして、病院へ行くか救急車を呼ぶか迷ったときの相談窓口です。

相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等）が24時間・365日に対応しています。



Q8 あなたは、病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに、ご自身で病気やけがの緊急度が確認できる「東京版救急受診ガイド※」（冊子版またはウェブ版）を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 利用したことがある
- 2 どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない
- 3 名称だけは知っているが、どのような時に利用するものなのか知らない
- 4 知らない

※ 「東京版救急受診ガイド」はインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できるものです。



ウェブ版



冊子版

応急手当についてお聞きます。

Q9 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。
あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取り扱い中心の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取り扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 短縮普通救命講習（東京消防庁ホームページの電子学習室で事前に学習後、
上記3を2時間で学ぶ講習）
- 5 上級救命講習（普通救命講習の内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 6 短縮上級救命講習（東京消防庁ホームページの電子学習室で事前に学習後、
上記5を6時間で学ぶ講習）
- 7 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 8 受けたことがない（Q10へ）

（8以外を選んだ方はQ11へ）

Q10 Q9で8を選んだ方にお聞きます。
救命講習を受けていない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 講習を受ける時間がない
- 2 講習に行くのが面倒
- 3 講習を受ける必要性がない
- 4 講習を受けなくても、応急手当ができる
- 5 講習をやっていることを知らなかった
- 6 その他（具体的に

Q11 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 応急手当の方法を知っているから、実施できる （→Q13へ）
- 2 応急手当の方法を知っているが、実施できない （→Q12へ）
- 3 応急手当の方法を知らないので、実施できない （→Q13へ）

Q12 Q11で2を選んだ方にお聞きます。あなたが、応急手当をできない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 かえって悪化させることが心配だから
- 2 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 3 感染などが心配だから
- 4 怖いから
- 5 自信がないから
- 6 その他（具体的に

Ⅳ 防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q13 あなたが最近1年間で参加したことがあるお住まいの地域や職場、学校などでの防災訓練や自衛消防訓練、東京消防庁主催のイベントなどがありますか。
次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
 - 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、胸骨圧迫（心臓マッサージ）など）
 - 3 避難訓練
 - 4 救出・救助訓練
 - 5 水災に関する訓練
 - 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
 - 7 VR防災体験車による災害疑似体験
 - 8 映像等による防災学習
 - 9 AR機器を活用した消火・避難訓練
 - 10 防災講演会、座談会など
 - 11 その他（具体的に
 - 12 どれも体験・参加したことがない（→Q14へ）
- （12以外を選んだ方はQ15へ）

VR 防災体験車



AR 機器



Q14 Q13で12を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

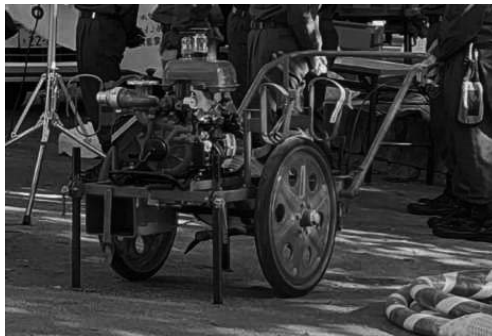
- 1 訓練やイベントのあることを知らなかったから
- 2 過去に参加したことがある訓練やイベントと同じような内容だから
- 3 訓練やイベントに関心がないから
- 4 訓練やイベントの時間帯が合わないから
- 5 一緒に参加する人がいないから
- 6 休養したいから

Q15 あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 1 地震が起きた時に想定されるマンション等の共同住宅における特有の状況※
- 2 高層階（概ね10階以上）では、揺れが数分続くことがある
- 3 119番通報のしかた
- 4 消火器の使い方
- 5 火災による煙が発生した際の避難のしかた
- 6 消防ポンプの使い方
- 7 スタンドパイプの使い方
- 8 いずれも知らない

- ※ ・停電や大きな揺れによりエレベーターが停止した場合は、ケガ人を地上まで運ぶのが困難になる。
 ※ ・消火設備や警報設備が動かないことがあり、火災の発見が遅れたり、消火や避難が困難になったりする。

消防ポンプ



スタンドパイプ



V 消防団に関すること

消防団※についてお聞きします。

Q16 消防団※を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q17へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q17へ)
- 3 知らない (→Q21へ)

※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

火災が起きた際には自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行うほか、町会などで行われる初期消火訓練や避難訓練などの指導を行います。



Q17 Q16で1又は2を選んだ方にお聞きします。

地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q18へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q18へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q19へ)
- 4 現在、消防団に入団している (→Q21へ)

Q18 Q17 で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。
(Q18回答後はQ20へお進みください)

- 1 活動内容の詳細
- 2 活動の頻度
- 3 活動時間の長さ
- 4 実際に活動している人の声
- 5 報酬及び手当等の詳細
- 6 入団方法
- 7 受講できる講座や研修内容
- 8 その他（具体的に)

Q19 Q17 で3を選んだ方にお聞きします。消防団に入団したいと思わない理由を次の中からいくつでも選んでください。(Q19回答後はQ20へお進みください)

- 1 活動する時間がないから
- 2 活動内容は知っているが、自分がやりたくないから
- 3 消防団についてよく知らないから
- 4 関心が無いから
- 5 体力的に難しいから
- 6 その他（具体的に)

Q20 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

Ⅵ 火災予防に関すること

消火器等についてお聞きします。

Q21 あなたのご自宅内に消火器等はありますか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

※マンションやアパート等の共同住宅の共有部分にある消火器は含みません。

- 1 消火器がある（→☐Q23へ）
- 2 住宅用消火器がある（→☐Q23へ）
- 3 エアゾール式簡易消火具がある（→☐Q23へ）
- 4 消火器等はどこにもない（→☐Q22へ）

消火器には使用期限があります。定期的に点検、交換を行い、いざというときに備えましょう。



消火器

住宅用
消火器

エアゾール式
簡易消火具

Q22 Q21で4を選んだ方にお聞きします。

消火器等がない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器等の使い方がわからない
- 2 消火器等が販売されている場所がわからない
- 3 消火器等の価格が高い
- 4 消火器等を置くスペースがない
- 5 消火器等の必要性を感じない
- 6 共同住宅の共有部分に消火器があるため必要性を感じない
- 7 自宅の近くに街頭消火器があるため必要性を感じない
- 8 消火器等を備えることについて考えたことがない
- 9 その他（具体的に

住宅用火災警報器^{※1}についてお聞きします。

Q23 住宅用火災警報器の本体交換や定期的に作動確認^{※2}をすることについて知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている
- 2 定期的な作動確認が必要なことを知っている
- 3 どちらも知っている
- 4 どちらも知らない

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。（法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。）



※2 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押すことや、ひもを引くことによって住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することです。

正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴り、音声等は自動で停止します。



Q24 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況^{※3}を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している
- 2 一部に設置している
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない（→[Q28](#)へ）
- 4 全く設置していない（→[Q28](#)へ）

※3 住宅用火災警報器は、全ての居室（居間、ダイニング、子供室、寝室など）、台所、階段に設置が義務付けられています。

Q25 設置されている住宅用火災警報器の中で一番古いものは、設置してから10年を経過していますか？また、経過していない場合は理由も含めて当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 10年経過している
- 2 10年経過していない（理由：交換済のため）
- 3 10年経過していない（理由：設置してから未経過）
- 4 不明

Q26 最近、半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。次の中から1つだけ選んでください。半年間に作動確認を実施したことが無い方も、可能であれば作動確認を行い、2を選んでください。

- 1 実施した（最近半年間に実施した）（→Q27へ）
- 2 実施した（今回のアンケート調査時に実施した）（→Q27へ）
- 3 未実施（→Q28へ）
- 4 不明（→Q28へ）



Q27 Q26 で1又は2を選んだ方にお聞きします。作動確認を実施した結果はどうでしたか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
（設置されている住宅用火災警報器に1つでも不良があれば「2. 電池切れ・故障」を選択してください）

- 1 異常はなかった
- 2 電池切れ・故障
- 3 不明

住宅用火災警報器は、機器の劣化や電池切れ等により火災を感知しなくなるおそれがあることから、設置から10年を目安に本体交換を推奨しています。
また、正常に作動しているか定期的（半年に1回以上）に作動確認をすることも大切です。

Ⅶ 消防行政に対する要望

Q28 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

A 火災などの災害に関する取組

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤（炭そ菌等）、危険物及び毒劇物等の特殊な災害への対応
- 5 火山の噴火等による火山災害への対応
- 6 林野火災（山林火災）への対応
- 7 消防団の災害対応
- 8 都外及び国外への災害活動支援
- 9 その他（具体的に _____）

B 救急業務に関する取組

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（＃7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に _____）

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実
- 6 その他（具体的に _____）

D 火災予防に関する取組

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 繁華街などの不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に _____）



ご回答ありがとうございました。
最後になりますが、統計に必要な情報を教えてください！

<フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりますが、お答えを統計的に分析するために必要なことについて差支えのない範囲でお答えください。

お住まいの地域 () 区・市・町・村)

性別 1 男性 2 女性 3 回答しない

年齢 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70代 8 80代以上

ご職業 1 自営業主 2 家族従業（家業手伝い）
3 勤め（フルタイム） 4 勤め（パートタイム）
5 主婦・主夫 6 学生
7 その他の無職
8 その他 ()

世帯構造 あなたの世帯について当てはまるものを教えてください。

- 1 単身世帯 2 夫婦のみ世帯 3 親（養育者含む）と子のみ世帯
4 三世帯世帯 5 その他の世帯

世帯構成 あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

- 1 未就学の乳幼児 2 小学生
3 中学生 4 高校生
5 大学生・専門学校生等 6 65歳以上の方
7 病気などで寝たきりの方 8 身体の不自由な方
9 いずれもない

住居形態 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

- 1 一戸建て
2 マンション・アパート（何階にお住まいですか→ 階）
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舍など（何階にお住まいですか→ 階）

建物構造 あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 耐火造（鉄骨造、コンクリート造など）
2 耐火造以外

所有区分 あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 持家（家族所有含む）
- 2 賃貸

町会・自治会の加入状況について

- 1 加入している
- 2 加入していない

消防との関わりについて

消防に関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある
- 5 消防署に郵送やメールを活用して相談や手続きを行ったことがある
- 6 東京消防庁のホームページや公式アプリを活用したことがある
- 7 特に関わりはない
- 8 その他（具体的に _____ ）

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。
ご協力いただきまして、ありがとうございました！



119番通報がつながらない時は！？

東京消防庁では119番通報が急増した場合、職員を増強して対応しています。

119番通報は着信順につながっています。119番通報をされた際、つながりにくい場合がありますが、電話を一度切ってしまうと、つながる順番が最後になる可能性があります。東京消防庁から電話を切断することはありませんので、つながるまで電話を切らないでください。

また、近くの消防署や消防出張所でも対応することができますので通報してください。

一つのけがや病気に複数の電話機で通報すると、回線が混み合ってしまう、受付の確認作業にも時間を要します。救急通報する場合は、一つの電話でお願いします。

東京消防庁についてさらに詳しく知りたい方は

○東京消防庁ホームページ

⇒<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

○東京消防庁公式アプリ



公式アプリのダウンロード
はここから！



[illegible]

Year	1990	1995	2000	2005	2010
Population (millions)	1.2	1.5	1.8	2.1	2.4
GDP (billions of dollars)	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
Life expectancy (years)	55	60	65	70	75
Urban population (%)	30	40	50	60	70
Healthcare expenditure (percent of GDP)	5	8	12	15	18
Government expenditure (percent of GDP)	10	12	15	18	20
Private sector contribution (percent of GDP)	15	18	22	25	28
Healthcare expenditure (percent of total expenditure)	10	12	15	18	20
Government expenditure (percent of total expenditure)	20	22	25	28	30
Private sector contribution (percent of total expenditure)	30	32	35	38	40

（３）東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

「日頃の活動についての感謝や励ましについて」

「広報活動・情報提供・知りたいことなどについて」

「救急車の利用について」

「調査に協力して初めて気付いたこと、改めて感じたこと」

「その他の要望など」

「その他」

■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ 近所で火事が何度か（２回程）ありましたが、テキパキと消火に当たる隊員の姿に感動しました。（６０代 女性）
- ・ 皆様の御努力が市民の暮らしの安心・安全を支えています。心より感謝いたします。危険な作業が多いと思います。くれぐれも御安全に！（７０代 男性）
- ・ 消防庁の皆様、現場に出ているらっしゃる、消防士・救命士の皆様、都民の生活を守って下さる大変なお仕事ですので、お体大切に、これからもがんばって下さい。ありがとうございます。（４０代 女性）
- ・ いつもさまざまな対応ありがとうございます。日々道路などで出動をみかけます。人々の安全はもちろんのこと、消防などの活動をされている現場の方々も安全に元気でいて下さい。（５０代 女性）
- ・ 人々の命を守り、救うために、危険中でも働いてくださっていることに感謝しています。（７０代 女性）
- ・ 大変だと思いますが、都民の安全な暮らしを守るため、頑張ってください！！なるべくお世話にならないように努めます。（４０代 女性）
- ・ 市民の安全を守ってくださり、どうもありがとうございます。（３０代 女性）
- ・ 救急の時に迅速に対応いただき、本当にありがとうございました。これからもっと重要性が高まると思うので、人員確保が大事だと思います。（７０代 女性）
- ・ 日々の訓練・ご出勤、ご苦労さまです。高齢者でも安心できる環境をこれからも続けていけるようお力をお借りしたいです。（６０代 女性）
- ・ いつも国のために大変な訓練などして頂きありがとうございます。安全第一で頑張ってください！！（２０代 女性）
- ・ 一日に何度も救急車を見かけます。急病人・その家族にとって、救急隊の皆様が本当に頼りです。どうぞ今後も大変な仕事内容ではありますが、頑張ってもらいたいと心より願います。（５０代 女性）
- ・ 消防士さん救急隊の皆さんの日頃のご活躍には頭が下がります。感謝しております。（７０代 女性）
- ・ 消防出張所の近隣に居住していますが、救急車・消防車の出入繁多の事、日夜頭が下がります。有難度ございます。遂行されている方々の健康が、心配になります。業務間の安息に配慮を十分に願っています。（８０代以上 男性）
- ・ 日々、大変な業務に誠実に取り組まれている姿を見ることがあります。皆様の活動に感謝しており

ます。(40代 男性)

- ・ 命にかかわる職業に従事して活躍され、いつも感謝しております。(80代以上 男性)
- ・ 消防活動の大変さを理解しているつもりですが、昨今、消防活動時の事故等も発生しておるので、ない事を祈るばかりです。(60代 男性)
- ・ 人口の最も多い東京に住んでいて、幸い、未だに身近な所で大災害に遭遇した事はありませんが、大変重要で尊いお仕事をして下さっている方々に安心して暮らせる有難さを感じ、心から感謝申し上げます。(60代 女性)
- ・ 暑い中、寒い中、訓練や激務でお疲れのことと思います。都民のためにいつもありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 大変な業務、ありがとうございます。一人一人の意識の向上が大切ですね。(60代 男性)
- ・ 近くで火災が何度か有り、その時、足がふるえましたが、消防者さんのお仕事に感銘を感じた事にありがとうございますと、心で感謝致しました。(70代 女性)
- ・ 高齢者施設に勤務(事務)しているため、日頃からたいへんお世話になっています。コロナが流行した時などは、1日に2度、3度と来ていただき、ありがとうございました。毎日毎日火災や事故、災害などの対応、本当にお疲れさまです。皆様が健康で活躍されることを願うばかりです。(60代 女性)
- ・ いつも災害等から守ってくださり、ありがとうございます。消防の皆さんがいてくれることは、大変心強く思っています。(30代 女性)
- ・ 消防のお仕事は、人々の生命を守る事だと思っていますが、それに従事されてる職員の方々には本当に感謝しています。これからも、御自身の身の安全も留意しつつ、よろしくお願い致します。敬礼。(60代 女性)
- ・ 平和に暮らしていただけるのは、消防署、警察署の方々のご活躍のおかげです。ありがとうございます。(80代以上 女性)
- ・ 人々の命を守るお仕事、敬服いたします。皆様のおかげさまで、何か起きても大丈夫、という安心を頂いています。ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 近くの消防署で訓練や点検に励む姿を見て、感謝の気持ちでいっぱいになります。私たちを守って下さることに心からありがとうとお伝えします。私たちもルールを守るように努めますので、どうかご自身の命も大切になさってください。(60代 女性)
- ・ 火災などの出動は命に係わる大変な仕事だと思います。ニュース等で殉職なさった人達の訃報を聞くたびに心が痛み頭が下がります。(70代 女性)
- ・ 命に危険を伴うお仕事に日夜取り組んでくださり、感謝しております。私達も各自常に火災・地震を意識してご迷惑をおかけしないように気をつけないといけませんね。いつも本当にありがとうございます。(70代 女性)
- ・ 子供が体調不良の際、お世話になりました。優しいお話で、安心できました。今後も大変だとは思いますが、頑張ってください。(50代 女性)
- ・ 先日2名の消防官の方が殉職されました事お悔やみ申し上げます。大変なお仕事ですが職員皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。(60代 男性)
- ・ 災害や防災で危険な状況下の中、尽力いただいていることを消防署の前を通ったときに真剣に訓練されている姿から想像ができます。わたしたちの安心安全な暮らしのために、いつもありがとうございます。(30代 女性)
- ・ 病院側の都合で搬送に時間がかかったり、路上駐車で通行が困難だったり、お仕事をされる上での

ストレスは、私の想像を超えるものだと思います。皆様のお気持ちをもっと知られる機会があれば良いなと感じております。(50代 男性)

- ・ 結果的に住民による誤操作でしたが、直近1年でマンションの火災報知器が作動したことがありました。消防の方々の駆けつけが早かったことと、どうゆう理由で作動したか、今後は安全か、と言う説明をしてくださったことが安心につながりました。引っ越す前にも同じようにマンションの火災報知器が作動したことがありましたが、その時は家の前に避難している住民が多かったこともあり、説明も聞けず不安になったことがあったため、動きの早さと丁寧な説明は特にありがたいことだと感じました。いつもありがとうございます。(20代 男性)
- ・ 従事してる方々は命懸けの仕事をしているので、環境や待遇の改善などが必要であれば行われて欲しいと思う。(30代 男性)
- ・ 日々 作業員が 命に関わる 作業に対して 大変ありがたく思っております。 これからも 自分の身も守って 活動続けてください。(60代 男性)
- ・ いつも人々を守ってくれてありがとうございます。以前やっていたドラマ119 エマージェンシーコールのようなドラマは、仕事内容を知る事や現場の様子を知るのにとっても勉強にもなり、よかったです。(30代 女性)
- ・ 暑い日も寒い日も、大変な訓練をして救助活動をして頂き、本当にありがとうございます。お世話にならないよう日々、気をつけます。 心から感謝です。(50代 女性)
- ・ いつも区民の為に働きご苦労様です。 12 年前に母が倒れた時に冷静な判断をしていただき適切な病院に搬送していただき今年90歳になりますが元気で過ごしております。 これからもお身体にお気をつけて大切なお仕事で 皆さんの安全をお守りください。(60代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。災害時の活動でご苦労も多いかと思います。自分の立場では火災予防、けが予防をすることで消防庁の出動機会を減らすなどやっていきたいと思っています。(50代 男性)
- ・ 東京に引っ越してきてから自身の事で119番はしたことがありませんが、老人福祉施設に勤めている関係で仕事で救急隊と接することがあります。日常の消防、救命活動から、防災に関する啓発活動まで幅広く都民を守ってくれていると思います。消防庁の皆様が活躍しない安心安全な街である事が一番だと思いますが、そのために尽力されているのが消防庁の皆様だと思います。お仕事中に理不尽なこともあると思いますが、これからも安心安全な日々を守って頂けるようどうぞよろしくお願いいたします。(40代 女性)
- ・ いつも安心して生活ができる環境を作ってくださいありがとうございます。(50代 男性)
- ・ 365日24時間の仕事。皆様のお陰様で安心、安全に生活する事が出来ております。大変なお仕事を日々頑張っておられ、感謝しています。いつも有難うございます。(60代 女性)
- ・ 日々大変な業務に従事されて頭下がります。皆さんの給料はもっと高く良いと思います。微力ながら応援しています。(50代 男性)
- ・ 日々サイレン等を聞く度にご苦労様ですとっております。安全を守っていただき感謝しかありません。 ありがとうございます。(40代 女性)
- ・ いつもありがとうございます、あなた方のおかげで、我々は日々を無事に過ごすことができています(20代 男性)
- ・ 母親を救急搬送していただいた事があります。消防の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ すごく大変なお仕事に尊敬してます。 特に救急隊の方々。 理不尽な要求に無理に対応せず毅然と

した態度で臨んでください。(50代 女性)

- ・ 日頃の活動に感謝しています。これからもまずはご自身を守ったうえで、活動いただけますようお願いいたします。(60代 男性)
- ・ いつも都民を助けてくださりありがとうございます。幸いにもお世話になる事なく過ごして来ましたが、今後はもう少し防災・災害意識を高めていけたらと思います。(40代 女性)
- ・ 救急車で運ばれたとき、救急隊員さんが心配してくれたり、優しさから気持ちの面で勇気づけられた。(30代 男性)
- ・ 頻繁に緊急出動されている姿をみて、危険な仕事をしてくださっている事に感謝しております。(40代 女性)
- ・ 先日火災・ガス漏れ対応に繁華街で偶然遭遇しました。迅速な対応素晴らしいと思いました。(50代 女性)
- ・ 何度か家族等が救急車のお世話になりました。大変心強くありがたかったです。皆様にお礼申し上げます。(50代 女性)
- ・ 今年の夏も救急車のサイレンが鳴り止まず1日に2回は聞いていたくらいです。大変な職業だと思いますので、いつもありがとうございます。(30代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。先日、救急隊の方が亡くなったニュースをみて、とても悲しい気持ちになりました。命を救う素晴らしいお仕事ですが、やっぱり引き際は心得ておかななくては行けないと思いました。みなさんも誰かの大切な人ですからね。(30代 男性)

■広報活動・情報提供・知りたいことなどについて

- ・ もっと幅広い世代に関心を持たれるような機関であって欲しいと思います。若年層に伝わりやすいSNS、フルタイムで働く層も手軽に読める冊子など。“東京防災”の簡易版、地域特化型のもの、スマホで簡潔に調べられるアプリ等、もう少し広報にも力を注いで頂けたら、都民／区民の不安も減ると思います。勿論、人命救助を最優先にして欲しいですが、時代に合った情報共有の形をお願いしたいです。また災害時の寄付や支援の一番良い方法、支援金と義援金の違い等、災害の最前線で働く方々にちゃんと気持ちを伝えられる方法を知りたいです。(40代 男性)
- ・ パソコン・スマホからの情報(文章)は読みにくく、苦手です。広報など紙ベースでの情報をなくさないでほしいです。日頃から署内で訓練をしている姿を見て、とても心強いです。(60代 女性)
- ・ 地域町会等に指導をお願い致します。(70代 男性)
- ・ 何となく消防庁は色々やってくれてるんだろうなと子供が小さい頃は保育園などで活動に参加していたが、今は触れる機会がありません。もっと#7119とか受診ガイドとか周知してほしい。この調査は良かったです。(50代 女性)
- ・ 小さなアパート等への指導を重点的に行って欲しいです。(70代 男性)
- ・ 防災について普段はそこまで意識していない方が多いと思います。AEDの使用方法などYoutubeの広告等で流れて自然に目にできるようになると勉強できて良いかと思います。(40代 女性)
- ・ 分からない事ばかり。情報がほしい。(50代 男性)
- ・ 講習を受けておきたいと思うが、日時が決め手。近くか、自治会でやってくれると行くと思う。(70代 女性)
- ・ ネットで消防の活動をもっとわかりやすく知らせてほしいです。(60代 女性)
- ・ 地震に対しての対策、必要性は感じているが、どこから手をつけるか、適切な処置ができるのか、

不安あり。アドバイザーや動画など、いつでも利用できる仕組みを期待します。(60代 女性)

- ・ 高齢者(元気な)でも地域の防災にお手伝い出来ることがあれば、講習等の啓発活動を通じ、お教え頂きたいと思っております。(60代 男性)
- ・ 救命講習、防火防災訓練を年1(できれば半年に1回)(←参加者は世帯から1人)半強制で実施してほしいです。(40代 女性)
- ・ 日頃の御活躍、ご尽力ありがとうございます。災害、火災等に対して地域で共通の認識ができるよう気軽に参加できる講習会をお願いします。(60代 女性)
- ・ 仕事場でお世話になりました(小学校)。防災訓練等を合同で行なっていただけるのはよかったです。(30代 女性)
- ・ いつもありがとうございます 日頃気をつけられることを啓蒙してもらい、各自が認識できるよう広告周知あるといいと思います。(50代 女性)
- ・ 応急手当での講習に参加したい。(50代 男性)
- ・ AED 講習において、意識がない場合に適応と言われるが、外傷性(車に轢かれたなど)で意識がなくても使うのかなども伝えてほしい。(40代 女性)
- ・ 身体が不自由な者への情報提供(60代 女性)
- ・ 消防活動の重要性の啓蒙 日常生活で身近に関われる活動(40代 男性)
- ・ イベントには興味があります。どの様に知りうる事が出来るかが不明(50代 男性)
- ・ 個人でできる事(消火器、転倒防止策、警報器点検等)見過ごしていた事に気づきました。まずはそこから始めます。家庭で出来る防災や緊急時の対策を家族で話し合い、災害時に適応できるようにしていきたいのもっと沢山の情報伝達をお願いします。(60代 女性)
- ・ 体験学習については、全ての小中学校への実施することはもちろん、実施回数を増やすべき(外国の設立した学校についてはその国から実施費用を徴収すべき)(30代 男性)
- ・ 住居近隣の AED の設置場所と使い方の簡単なパンフが欲しい。(70代 男性)
- ・ 避難の仕方の説明(50代 男性)
- ・ 活動内容があまりよくわからない。もっと情報発信をして欲しい(50代 男性)
- ・ 火災発生原因の定期的公表(60代 男性)
- ・ 手軽に情報をしることができる手段を作っていただきたい。ゲーム、動画などなど、普段人が閲覧するものを通して普及していただきたい。(40代 男性)
- ・ AED の使い方の講習を頻繁に計画して欲しいと思います。その際は必ず参加者全員が実地訓練の機会が得られるようにしていただければよろしいかと思います。(60代 男性)
- ・ 初期消火は、地域密着だと思うので、町内単位でもっと防火防災方法をアピールして欲しい(60代 女性)
- ・ 多摩地域には消防や防災に関して学べる施設がとても少ないので、家族で気軽に行って訓練に参加できるような所が近くにあれば、知識を身につけることができ嬉しい。(40代)

■救急車の利用について

- ・ 昨年末、高齢の父が動けなくなり、救急車にお世話になりました。2分以上つながらなくて不安でしたが、訪問看護師さんのすすめで再度電話して、やっとつながった経験があります。もし待っている間に、音声ガイダンスでもいいので、「今○番目で、○秒待つ」と言ってもらえたら、切らずに待てたのかなと思います。救急隊員さんには、動けない父を何とか家から運びだしてもらい、救急車に乗せてもらいました。搬送先の病院がなかなか決まらず、東京中で探し回っていただき、一時

的な受け入れ先を確保してもらいました。その大学病院がたまたま地元の病院の提携先だったこともあり、その後の手続きがスムーズでした。結果として、その地元の病院が父の旅立った病院になりました。色々なことが急だったため、流されるがままでしたが、正月中の夜中に危篤になった際、自転車でかけつけることができ、少し持ち直したり、最期の家族の時間を持てたことが、今になって思い返すとありがたい時間でした。あの時、救急車に乗れていなければ、年を越せなかっただろうとお医者さんにも言われたので。この場をお借りしてお礼を伝えさせて下さい。本当にありがとうございました。(30代 女性)

- ・報道などで119番通報が相次ぎ、お忙しい御様子を拝見し、心を痛めております。不必要な通報がなくなるような啓発、市民側の心づもりなどができればと考えております。いつもありがとうございます。(40代 女性)
- ・日々ありがとうございます。仕事をしていた時、仕事で時々救急車を呼びました。時々とてもきびしい口調の方もいて、あせりと不安が増す事がありました。大変なお仕事と理解していますが、安心できる言葉をかけてくださる方もいらっしゃいます。(60代 女性)
- ・救急車を呼んだ時、とても親切にいただき、とても助かりました。(80代以上 男性)
- ・救急車を呼ぶ必要のない人がタクシー代わりに利用しない対策をしてほしい。(50代 女性)
- ・緊急では無い救急依頼に対して処罰を検討していただきたい。(70代 女性)
- ・無駄な119番通報をする人がいる。そのような場合、有料(罰金)とすべきである。(80代以上 男性)
- ・自宅前に老人ホームがあり、かなりの頻度で夜間に救急車が来ます。幹線道路を外れた時点でサイレンを消してくれる場合もありますが、住宅地を大音量でやってくる車もあり、自宅前に長時間停車され、自家用車を車庫に入れられないこともあります。大切なお仕事をなさっていることは重々承知しております。統一的な配慮があると助かります。(60代 女性)
- ・主人が心筋梗塞になった時、#7119を利用しました。迅速な対応により、命が助かりました。#7119がもっとみんなに周知されればと思います。(60代 女性)
- ・119番通報した際に、ビデオ通話などで応急手当の方法などの指示をしてもらえると安心です(以前テレビで話題を見ましたが、その後どうなったのか勉強不足ですみません…。)(30代 女性)
- ・難しい問題なのですが、真夜中や明け方の救急車がひんぱんに走り交差点を通過する際に、大音量でサイレンを鳴らすので、そのたびに目が覚める。救急なのでしょうがない事ですが、あまりに多い為、不眠になってしまい、何かこの問題がうまく解決する方法はないのかとつねに思っています。(50代 男性)
- ・救急車が利用者を乗せたまま止まっているのを(結構長い時間)よく見かけます。受け入れ病院の交渉などとは思いますが、改善をお願いしたい。どのような時、必ず救急車を呼ぶべきかということを見ながわっている状態になるよう普段から意識できるよう冊子やネットでなくポスターや広告媒体等で啓発活動をしていただいて、必要ない救急(119番)通報が減るようにしてほしいです。(60代 女性)
- ・いつも地域を守ってくださりありがとうございます。救急車が足りなくて、消防車が来るそうであるので、近くに消防車が来ると火事なのかなと、避難は必要なのかなと心配になりますが、救急車の代わりに来ているのなら、病気や怪我だから呼んだ方や家族も見えてほしくない(知られたくない)と思うので、見分ける方法など普及すればいいと思います。(40代 女性)
- ・#7119に何度か電話したことがあるが、極めてつながりにくい。そのため119に電話せざるを得

なかった。結果的には救急車の要請で対応してもらった。＃7119の必要性は知っているが、もっとつながりやすくしてほしい。(60代 女性)

- ・ いつもありがとうございます。どうか救急車出動を有料にし、不要な出動を減らしてほしい。我々でも役に立てるよう、研修やイベント、ドラマや情報番組等のテレビで、学べる機会を作してほしい。(50代 女性)
- ・ 通報が繋がりとやすくなると良いと思う。(60代 女性)
- ・ 最近あった一人暮らしの家、緊急時の時、現場に救急隊が来てくれましたが、玄関の鍵が掛かっていて家の中に入れない、今のご時世携帯電話が有りますので寝床から119番の電話が出来ます。警察官立ち合いの元、鍵が開けられる専門職がいてほしい。この時は2階の窓が開いていたようです。時間が大分掛かっていた。(70代 男性)
- ・ 通院している病院に搬送されない時の病院探しに時間がかかりました。(70代 女性)
- ・ 以前と比べて救急車の走行時に、車も歩行者も、救急車が通過するのを待たなくなった、通過ギリギリまで横断する、という状況を見ることが多くなったと感じています。実際はどうかわかりませんが、私の印象です。発災時、救急時に対する意識が低くなったのか、知識として知らない考えなのか、残念に思っています。知らないのだとしたら知識付与の機会があればいいと思います。個々には色々な方が働いていると思いますが、大変なお仕事おつかれさまで、いち市民として感謝いたします。(40代 女性)
- ・ 子どものことで＃7119に相談した際、救急車を呼ぶことになりました。子どもが夜間に具合悪くなることが多いので、具体的なアドバイスがあるといいなと思いました。(30代 男性)
- ・ 救命車にお世話になったことが何度かあるのですが、数年前はとてもご親切なご対応だったのですが、今年の夏にお世話になった時は隊員さんがちょっと無愛想な様子で少し心細く不安な気持ちになりました。猛暑で出動も多かったからかと判断はしました。私も極力お世話になるのは避けたく思いますが相談電話をしてから判断を仰ぐのですが、どうしても具合が悪くなる時もあるのでそんな時の寄り添いがあるととても助かります。(60代 女性)
- ・ いつも地域の安全を守っていただきありがとうございます。東京に出てきて驚いた事は緊急車両が交差点を徐行しながら通過することです。緊急車両を必要としている方の元にいち早く駆けつけることが出来る仕組みが作られると良いなと感じます。(30代 男性)
- ・ ＃7119に繋がらないので、市外局番の番号に電話したことがある。繋がらない時に、市外局番の番号にかけられることを知らない人もいたので、周知することが必要だと感じた。＃7119が繋がらないと相談できないので、繋がるようにしてほしい。(40代 女性)
- ・ 現場の方は特に忙しく大変な業務で、日頃から感謝しています。夜間や緊急時、当方では、まず、相談窓口にお問い合わせしてから対応を考えています。それが一般市民ができることのひとつだと思うからですが、以前相談の末、救急車を呼んだ時に、隊の方からかなりの威圧感を感じ、呼んだことが悪かったのかと考えたほどの経験があります。今なら端的に業務をこなしていたのだと考えようと思えるものの、その時は車内で行き先が決まるまでいたたまれなかったです。対応の仕方をどうして欲しいとかこちらから言うことではないかとも思いますが、迅速に呼ぶ必要ありと指示を受けて呼んだ救急車で、少なくとも安心感より不安の増幅を感じた出来事でした。いち経験談として、いい機会なので書かせていただきます。(20代 男性)
- ・ 家族が急病時に数回救急車でお世話になりました。職員の方々にとても感謝しています。その際に感じたのですが、救急車に関わる際の具体的な流れ注意点などの発信をされているのでしょうか？今でも呼ばれる方と通報を受ける方のバランスが良くはないので、むやみな広報には注意しなければ

ばなりません、病人が身近な方々への具体的な広報はもう少し積極的に考えていただきたいと思います。(50代 女性)

- ・ 消防車が出動している際は急いでいるのは誰でもわかりますが、皆やはりゆずり合いです。無言で道が開くまで待っている消防車も多々見かけますが、大きな声でお声がけ、お礼を言いながら走行している消防車もあります。お声がけいただく事で、こちらにも緊迫感が感じられます。サイレンの音だけでなく、どの隊員の方も声がけされた方が、これまで以上に現地に早く着くと思います。大変なお仕事だと思いますが、安全第一に頑張ってください!!(40代 女性)

■調査に協力して初めて気付いたこと、改めて感じたこと

- ・ 情報として役に立ちました。→(『119番通報が繋がらない時は!?』)←今回1番役に立った情報でした。(60代)
- ・ アンケート調査をきっかけに、救命講習などを受けるようにしたいと思いました。東京消防庁のホームページを活用したいと思います。(60代 女性)
- ・ 『119番通報が繋がらない時は!?』「つながるまで電話を切らないでください」「一つの電話をお願いします」←参考になりました!!(70代 女性)
- ・ 訓練や活動ご苦労様です。今回のアンケートをきっかけに、防災について学び直さなければと感じました。何かあったときは頼らせていただきます。(20代 女性)
- ・ 情報は約に立ちました。新聞に消防庁からのお知らせが入ることがありますが、これまでちゃんと読んでいませんでした。すみません。今回をきっかけに読むようにします。(60代 女性)
- ・ 7119、119番通報が繋がらない時の対応をこの調査票で確認できました。このこと以外でも知らない事項多いと思います。周知していくのは難しいと思いますが、知識として必要なこと・重要なことなので、今後の活動、ご指導宜しくお願い致します。(60代 女性)
- ・ この様な調査は近年実施した事がありません。改めて普段からの注意喚起が大切であるのがアンケートにより良く理解することが出来ました。(70代 女性)
- ・ 119番通報が繋がらない時の情報(電話を切ってかけなおしていた)を知らなかったので、知って良かったです。この様なことをもっと知りたいです。(70代 女性)
- ・ 消防について知らなかった事がアンケートで少しだけ知れた気がします。ありがとうございました。(40代 女性)
- ・ #7119は、アンケートで初めて知りました。ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。119番が繋がらない際、近くの消防署や消防出張所でも対応していただけることをこの機会に知りました。(40代 女性)
- ・ 119や#7119は知っていましたが、「つながるまで電話を切らない」は多くの方が知らないと思います。PRが必要だと思います(『119番通報が繋がらない時は!?』)。(70代 女性)
- ・ 夫が15年前(現在70才)にくも膜下出血で倒れた時、救急隊の方々にお世話になりました。落ちついた対応に大きな安心感を得ました。(『119番通報が繋がらない時は!?』の)「つながるまで電話を切らないで下さい。」「救急通報する場合は、一つの電話で」→はじめて知ったことです。アンケートに答えながら、我が家が無防備であることに改めて気づかされました。ありがとうございます。(70代 女性)
- ・ 今回のアンケートだけでも今まで知らなかった情報がありました。もっと知られるようになると良いと思います。消防団のみなさん、日頃よりありがとうございます。これからも活動頑張ってください。(40代 女性)

- ・今回気軽な気持ちでアンケートに答えましたが、地震や災害への対策や万が一への備えが甘いことを改めて自覚致しましたので、貴重な機会をいただきありがとうございます。 イベントなどの情報が得られていなかったこともひとつ反省点で、今後は息子と共に消防イベントなど積極的に参加したい限りです。一方でこういった情報をまとめる SNS や広報活動があれば取り組みには期待したく思います。ありがとうございました。(30代 女性)
- ・いつもありがとうございます。10 数年前に実家で祖母が亡くなった時に母が慌てて私に連絡してきた時、すぐに 119 へ連絡したら駆けつけてくださいました。私は区内ではあるものの一時間近くかかってしまったため、お世話になったことを感謝しております。私も損保に勤めていることから 有事のニュースであったり防災などは日頃より意識していますが、今回のアンケートで意外に目を配っていないことに改めて気付かされました。(40代 女性)
- ・今まで救急消防等に関わりがなく無関心であった。本アンケートを機会に、ホームページ等を参考に勉強したい。(70代 男性)
- ・いつも御苦勞様です。アンケートをきっかけに色々な事を見直すきっかけになりました。自分の出来ることを探して実施していこうと思います。この度はありがとうございました。(30代 女性)
- ・日々、地域の安全を守ってくださりありがとうございます。このような調査に参加できたことで、防災等について振り返ることができて良かったです。(30代 女性)
- ・救急相談センター(7119)があることを、本アンケートで初めて知りました。同様に知らない都民の方も多くいると思いますので啓発があって知ってもらうのがよいかと思います。(40代 男性)

■その他の要望など

- ・大地震対策に力を入れることを希望します。(60代 男性)
- ・申請等での対応があまりよくなかった。もっと教育をしてほしい。(60代 男性)
- ・救急車の選定療養費を全ての地域に！！(60代 女性)
- ・火災が発生した場合、〇〇地区〇〇丁目等の情報をすばやくインターネットで調べる手段はありますか。分かりにくいような気がするので、改善していただけたら嬉しいです。一晩中苦しんで(下痢、嘔吐、腹痛)朝方救急車を要請しましたが、Dr.の交代時間の理由で、救急車内で長時間待たされました。一刻も早く、Dr・看護師のもとへ運んでいただきたかったです。(60代 女性)
- ・一般の人が入りやすい消防署だと、防災について相談しやすい(2階までは行かれない、仕方ないと思うが、1階は車両置き場で、署内の様子が見られず、立ち寄って良いのか入ってはだめなのかわからない)。(70代 女性)
- ・水元公園で消防車のイベントがあったらうれしい。(30代 女性)
- ・熱中症の予防・応急手当の方法をもっと広めて欲しい。女性の救急隊員を増やして欲しい。(40代 男性)
- ・コンセントのプラグカバーの設置を推奨してほしい。(40代 男性)
- ・エアゾール式消火器も回収してくれる場所があれば。(50代 男性)
- ・放火抑止のため街宣車での見回りをお願いしたいです。特に住宅街だと防犯のためにもなると思っています。(60代 女性)
- ・高校生子供が消防士になりたいと言っているが、体験できる機会がないので職場体験できる機会があればと思う。(40代 女性)
- ・大学と連携して行って欲しい。(10代 男性)

- ・危険を伴う業務に携わってくださる皆様に感謝です。墨田区は特に住宅が密集している地域が多いので、今後とも地域、行政との連携がさらに求められると思います。最近増えてきた民泊に対する指導も強めてもらいたいと思います。(60代 女性)
- ・火災以外にも、近頃自然災害が増加傾向にあると思います。老人世帯、独居世帯が増えてますのでその辺の対応に尽力をお願いしたいと思います。(80代以上 男性)
- ・災害備蓄品や家具固定等の情報プラス推奨品の販売などしていただけると選びやすい。(50代 女性)
- ・日々の活動を適宜、共有して欲しい。(30代 女性)
- ・モバイルバッテリーが原因の事故が増えてるのでアナウンスを強化してはどうか。(40代 男性)
- ・コロナになってからは、町会の防災訓練がない。そろそろ、訓練をやって欲しい。(70代 女性)

■その他

- ・以前ドラマで119番通報関連を見て、ドラマではあるものの、どのような仕組みであるか少し知れた気がします。最近では高齢化による火災の多さや、バッテリー等の発火火災等、今までよりも火災が増えていることに恐怖さえ感じます。(50代 女性)
- ・東京消防庁のアプリダウンロードさせて頂きました。利用させて頂きます。ありがとうございました。(70代 女性)
- ・こんな世論調査票があることも知らなかったのでおどろいた。江東祭で見たことはあるけど、あまり身近にかんじない。(「以上で調査は終了です。」のふきだしの右側にいるキャラクター) ←この子、名前はなんて言うの？(60代 女性)
- ・1人暮らしの為、もし倒れて気付かれなかったらという心配があります。災害も恐いです。(80代以上 女性)
- ・近くに避難場所が無い。(60代 女性)
- ・雑居ビル、木造家屋など危ないところの解決にご尽力願います。(70代 男性)
- ・近所で火事が発生した時に、洗濯物にニオイが付いた経験をしました。(70代 女性)
- ・日々、街や人々の安全の為の業務遂行に感謝しております。今後もっとも懸念される事と言えば直下型大地震ではないでしょうか。起こった場合の助け船として皆さまは大事な存在です。今後とも都民ならび地域のための活躍を期待しております。(50代 男性)
- ・仕事に対する情熱を強く感じる良い組織のイメージで好感を持っています。(40代 男性)
- ・区内に住む外国人に厳しく接してください。(20代 女性)
- ・常日頃からの活動に感謝いたします。東京は特別な地域の為より一層の生命・財産の安全確保の向上への取り組みを期待いたします。(60代 男性)
- ・少子化問題が進む中、新卒採用に力を入れるなどしていただき、消防行政に必要な人材を確保、ひいては都内の防火防災に資する安定的な活動を期待しております。(50代 男性)
- ・信頼性を確認した上での情報提供サポーターのような方を増やしていけばスマートフォンの普及もあり消防職員の足の代わりになるのではないかと思う。(40代 男性)
- ・正直、あまり防災意識も無く、身近に感じていない。もう少し考えたいが縁が無い。(50代 男性)
- ・近所にあるが、ちょっと敷居が高く、気になるけど入り難い。(20代 男性)